

Frank O. ゲーリー設計(1988-2003)

1988年の国際設計競技で選ばれ、ようやく開館した話題のコンサートホールである。LA交響楽団の本拠地としてバンカーヒルに建設された。厚さ5mm弱のスティール板を貼ったオブジェのような形態はすでにLAの観光名所となっている。

遠くから眺めていると、一見、ぐにゃぐにゃで、金属で覆われた建築は、無機質で自己主張の強いオブジェにしか見えないが、実はそうではなかった。

施主の要望でもあり、LAという都市との繋がりを第一に考えた、内と外との融合が図られていた。1Fロビーと外部歩道とはフラットで連続性のある床、壁という存在感を消した硝子の仕切りで緩やかに繋がっている。内外共に開放感を与え、親近感を漂わせる構成がとられている。

内部へと足を踏み入れると、ロビーでは木の温もりを感じさせる柱と白い曲面が、造形的でヒューマンな空間を創っている。

また、金属で覆われた建築であること、都市の真ん中にあることを感じさせない空からの自然光がふんだんに取り入れられていた。建築本体によって切り取られる景色は、人の視線を導き、都市や自然に目を向けることを教えてくれる。

ゲーリーの作品は、思った以上に都市や自然を取り込んだ、やわらかい建築に感じられた。

